

ストック型社会の実現に向けた情報基盤の整備に関する検討委員会 概要

<目的>

少子高齢化が急速に進展しており、今後空き家・空き地が増加、住民一人当たりが負担する行政コストが増える等の都市問題が予想されている中、持続可能な都市を目指すためには、都市のコンパクト化やストック型社会の実現に向けた取り組みが必要である。一方で、これらの政策の実現には、居住や都市機能の移転・集約を伴う場合もあることから、地域住民の理解と合意が不可欠であるが、マスタープランや都市計画図だけでは、住民がまちの現状や課題を把握し、将来あるべきまちの姿を具体的にイメージすることが困難であることが課題となっている。

そこで、本調査では、まちのコンパクトシティ化、ストック型社会の実現に向けた取り組みを推進するために地域住民や関係者がまちの現状や抱える課題を把握し、関係者間で目指すべきまちの姿の議論や意見交換、将来のまちのイメージ等の共有ができるコミュニケーションツールの構築に向けて、自治体等の地域関係者や有識者等による検討会を開催し、プロトタイプ開発のための検討を行うことを目的とする。

<検討委員会メンバー>

会社名	所属／役職	氏名
東京大学	大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻 教授	出口 敦
北九州市立大学	地域戦略研究所 所長・教授	内田 晃
名古屋大学	大学院環境学研究科 都市環境学専攻 教授	谷川 寛樹
九州大学	高額研究院 都市システム工学講座 主任教授・都市研究センター長	馬奈木 俊介
次世代システム研究会	会長	岡本 久人
北九州市	建築都市局 計画部長	奥野 静人
北九州市	環境局 総務政策部長	中川 正則
内閣府	地方創生推進事務局 参事官	森本 励